

# 週報

2022年度 教会標語

「礼拝に支えられ、共に生きよう！」

&lt;先週の説教から&gt;

『ヘブライ④—まことの大祭司』 武田真治  
イザヤ 38:15~19 ヘブライ書 7:19~28

このヘブライ人への手紙の中で著者が特に読んでいる人たちに伝えたいと願っているテーマは“イエス様は私たちのまことの大祭司である”だと言います。この点をしっかりと分かってもらいたいと、旧約聖書からイエス様のこの働きと似ている人物として説明したのが「メルキゼデク」という存在でした。彼の名前は2章から7章まで10回も登場して来ました。重要な人物だということがよく分かります。しかし、今日の箇所からはもはや一切、メルキゼデクについて触れられることはなくなり、その名前も出て来ません。その境目になっているのが今日の22節「このようにして、イエスはいっそう優れた契約の保証となられたのです。」なのです。ここで久しぶりに「イエス」様の名前が出てきました。

律法に基づいた古い旧約の祭司制度(=「レビの系統の祭司たち」)が廃止され、代わり血筋や系統に関係のない、一代限りの新しい大祭司(=「永遠の祭司」)としてイエス様がこの世に来られたことを、かつてレビ族よりも前に祭司として活躍した人物(=メルキゼデク)が居たことを例にとって、在り得ることだと説明したのでした。その彼をも、そしてレビ系の祭司たちよりも「いっそう(=遥かに)優れた(神様と私たちとの新しい)契約」がイエス様を通して与えられたことを語る事が出来たのでした。故に、もうメルキゼデクが出る必要は無くなったということなのです。

そして、面白いことに、代わりに今迄は一度も出てこなかった「契約(ディアセーケー)」という言葉が、ここから急にたくさん登場して来るのです。この箇所を含めて、以後21回も用いられます。それ故、ある解説者がこのヘブライ書全体の内容を“契約の手紙”と呼んでいる程なのです。

もう一つ、この22節には大事な言葉が登場しています。それが「保証」という言葉です。これはあまり普段は使われない裁判の記録用語で保釈金や抵当などを指します。イエス様が、神様との契約に際して、私たちの為に自ら抵当となっ

てくださっているという意味なのです。今の言葉で言えば、契約に際してイエス様が神様と私たちとの間に入り、私たちの連帯保証人になってくださったという意味だと言い得るでしょう。私たちが本当は罪の代価を支払わなければならぬ所を代わりにイエス様が肩代わりしてくださるのだと。このように「人々のために執り成しておられるので、御自分を通して神に近づく人たちを、完全に救うことがおできになります。」(25節)と。この方が天に居てくださるのだから、イエス様こそ私たちにとって“永遠の大祭司”なのです!

ここで「神に近づく人たちを」とあります。これは“天の玉座”に近づくという意味もありますが、もう一つ“礼拝を献げる”ことをも含んでいます。礼拝は神様の前に出ることです。様々な状況や事情のある中で、こうして礼拝に出て、頭を下げている私たちに「完全に救って」くださる方です!

\*\*\*\*\*

## 【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 I. 8月31日(水) 20:00  
II. 9月1日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答  
祈祷主題: 富士見幼稚園理事會を覚えて  
担当者: (水)水澤 (木)兼川  
祈る人: 保坂さん 細川さん

## 【教勢報告】

主日礼拝 男19 女47 計66  
祈祷会 I. 男7 女3 計10 II. 男3 女9 計12  
日曜学校 休会

\*\*\*\*\*

## 【次週礼拝】 9月 4日(日)

聖書: レビ記 4:1~12  
ヘブライ人への手紙 7:25~8:6  
説教: 「ヘブライ④—更にまされた契約の仲保者」 武田真治 牧師  
讃美歌: 115(1)、32(1)、343(1と2)、  
288(1と2と5)、27

## 【次週当番表】

司式:羽倉長老 奏楽:勝村 礼拝:岩佐長老  
献金:土門 長田 受付:西尾 森本  
会堂準備:浅井 阿部 齋藤 山田  
看板:保坂 週報:岩佐 お花:森本

【次週集会予定】礼拝前:・求道者会・聖書輪読会  
礼拝後:・長老会・会堂管理委員会・聖歌隊練習

2022年 8月 28日

日本キリスト教団 上尾合同教会  
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33  
TEL&FAX 048-771-6549  
<http://www.ageo-church.org/>